

乳頭の湯

秋田県

〈温泉について〉

秋田県の乳頭温泉とは江戸時代初期に始まった7つの源泉を持つ温泉郷を指します。乳頭温泉の「白さ」は、温泉の硫化水素が生み出す硫化化合物が要因と考えられています。乳頭温泉はアルカリ性重曹を多く含むため、皮膚を軟化させると同時に、皮膚の脂肪や分泌物を洗い流すため、入浴後はさっぱりとした洗いあがりになります。

湯	質	重曹湯
成	分	ナトリウムイオン(Na^+)、カルシウムイオン(Ca^{2+})、炭酸イオン(CO_3^{2-})、硫酸イオン(SO_4^{2-})、塩素イオン(Cl^-)、炭酸水素イオン(HCO_3^-)
効	能	荒れ性、ニキビ、あせも、しっしん、冷え性、肩こり、腰痛、リウマチ、しもやけ、あかぎれ、ひび、神経痛、痔、うちみ、くじき、産前産後の冷え性
医薬部外品承認		承認番号 22915DZX10007000